

# 【オキビジネスホンSR フリーラー】 システム短縮ダイヤル操作手順書

本資料は以下の機種のご操作について説明しています。

【カナ表示対応機】

- ・MKT/E-12D (DI2120)
- ・MKT/E-24D (DI2121)
- ・MKT/E-12S (DI2122)
- ・MKT/E-24S (DI2123)
- ・MKT/E-24DPF (DI2124)
- ・MKT/E-24DIPF (DI2125)
- ・MKT/E-24DHF (DI2127)
- ・MKT/E-24DCL (DI2128)
- ・MKT/E-24DDD (DI2119)
- ・MKT/E-24DAP (DI2126)



株式会社OKIネットワークス

# システム短縮ダイヤルを登録する

電話番号を短縮ダイヤルに登録できます(システム管理電話機から行います)

操作方法	
1	電話機待受状態で[保留]キーを押す
2	[短縮ダイヤル]キーを押す
3	番号を登録したい短縮番号をダイヤルする
4	番号種別(0,1,2)を入力する 0:外線番号    1:内線/全桁展開    2:PBX
5	登録したい番号をダイヤル
6	<p>相手先の名称を登録(カタカナ、英字12文字まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワンタッチキーの4(ネーム)を押す。 ディスプレイ上段に短縮番号、下段にア行が表示</li> <li>ワンタッチキーの7を押すと「イ」が選ばれます。(ワンタッチキー6～10が「ア～オ」に対応)</li> <li>ワンタッチキーの2(後スクロール)で「カ行」表示。さらに押すと「サ行」「タ行」とスクロールします。 ワンタッチキー1:前スクロール    ワンタッチキー5:バックスペース</li> </ul>
7	[保留]キーを押して、[スピーカー]キーを押す



ワンタッチキー

システム短縮ダイヤルを編集する為には、お使いの端末がシステム管理電話機である必要があります。システム管理電話機がおわかりにならない場合は、販売店にご確認願います。

[短縮ダイヤル]キーは、予めフレキシブルキーに割り当てが必要です。

電話機グループを分け、短縮番号を2桁にする事も可能です。2桁にする場合は、販売店にご相談ください。

相手先の名称を登録しない場合は、操作手順6を省略してください。

# システム短縮ダイヤルを消去する (1件のみ)

短縮ダイヤルに登録されている情報をすべて消去することができます

	操作方法
1	電話機待受状態で[保留]キーを押す [スピーカ]キーが赤点灯し、ディスプレイに[トウロクコード?]と表示されます
2	[短縮ダイヤル]キーを押す ディスプレイに[タンシュクNo]と表示されます
3	削除したい短縮番号をダイヤルする
4	[保留]キーを押す ・削除できた場合は、「ピー」となります。
5	[スピーカ]を押す

システム短縮ダイヤルを編集する為には、お使いの端末がシステム管理電話機である必要があります。システム管理電話機がおわかりにならない場合は、販売店にご確認願います。

[短縮ダイヤル]キーは、予めフレキシブルキーに割り当てが必要です。

# 短縮番号をダイヤルして電話をかける

短縮ダイヤルに電話番号を登録しておく、短縮番号をダイヤルして電話をかけることができます。  
番号には外線も内線も登録できます。

短縮ダイヤルの編集を行う場合には、お使いの電話機がシステム管理電話機に設定されている必要があります。

操作方法	
1	受話器を上げる 受話器から「ツーツー」発信音が聞こえます
2	[短縮ダイヤル]キーを押す
3	短縮番号をダイヤルする
4	相手が応答したら通話する
5	通話が終了したら受話器を戻す

この機能を利用するには、フレキシブルキーに[短縮ダイヤル]キーを割付けておく必要があります。  
販売店にご相談ください。

# フレキシブルキーに[短縮ダイヤル]を割付ける

短縮ダイヤル機能を使う為、空いているフレキシブルキーに[短縮ダイヤル]キーを割付けます。

操作方法	
1	[保留]キーを押し、「0」をダイヤル
2	[短縮ダイヤル]を割付けるフレキシブルキーを押し
3	「#04」をダイヤル ・ディスプレイに <input type="text" value="04"/> タンシユク: と表示されます。
4	[保留]キーを押し
5	[スピーカ]キーを押し